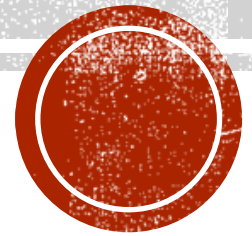


EAの設定値&運用ルール



EAの設定値

STEP1：MT4のバックテストの最適化を使い設定値案を決定

EA提供者の推奨設定は参考にするが、検証は必要（鵜呑みにしない）

（例：2021年7月～2022年6月）

STEP2：異常値を示したタイミングの理由を探す

2-1：理由により、現在の運用（リスク管理）で回避できるか検討

⇒回避できるなら、該当期間の前後を抜いて再バックテスト

2-2：理由が不明もしくは回避不能なら、そのままテスト結果を受け入れる

STEP3：作成した設定値案で、残ったバックテスト期間で通用するか確認

（例：2022年7月～2023年6月）

※注意：3年以上前のデータを使ってバックテストしても市場環境が違いすぎて現状との乖離が大きい



運用ルール

- 運用方針は、基本自分の生活に合わせて検討
 - どのくらいトレード時間が取れるのか（とるのか）
 - いつ時間が取れるのか
- バックテスト結果と実運用結果は、必ず違う
 - EAの一時停止や運用資産の移動は、バックテストでは再現できない
- システム異常は起こるとして定期チェックを行う
 - EAが止まる
 - サーバ/PCがスタックする
 - WindowsUpdateなどで、再起動が起こる
- 毎日やる事/毎週やること/毎月やることを書き出してルーティーンにする
 - 毎日 例：EAが動いているか確認
 - 毎週 例：トレード結果を集計してバックテスト結果と乖離分析
 - 毎月 例：サーバの再起動・利益確定分の資産を運用口座から移動



その他

- まったく手間をかけずに、EA運用で資産が増えて行くことはない
 - 自己売買では、全自動はない
 - 運用委託なら運用の手間はないが、安くない手数料を取られる
- リスクを取りすぎない（月利5%で十分）
 - 通常の資産運用では、どんなに良くても年利20%
 - FXの運用で、月利100%など目にするが長く続くとは思えない

